

3 中学校 国語

設問別調査結果 [中学校 国語A：主として知識]

分類・集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)	
			札幌市	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	◇	72.3
	書くこと	6	◇	83.4
	読むこと	5	◇	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	◇	78.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0		
	話す・聞く能力	4	◇	72.3
	書く能力	6	◇	83.4
	読む能力	5	◇	82.9
問題形式	言語についての知識・理解・技能	17	◇	78.7
	選択式	20	◇	83.2
	短答式	12	◇	73.1
	記述式	0		

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

記号の意味

(△) 上回っている

ほぼ同程度 (◇) やや上回っている +3% ← 全国平均正答率

(◆) やや下回っている -3%

(▽) 下回っている

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して、±3ポイントの範囲内

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式	札幌市	全国(公立)	札幌市
1-1	フリップの効果の説明したものと適切なものを選択する	目的に応じて、資料を効果的に活用して話す	2ウ					○	◆	78.6	0.2	0.2
1-2	報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する	必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す	1エ					○	◇	80.3	0.3	0.2
2-1	主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する	心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加える	2ウ					○	◇	90.9	0.3	0.2
2-2	仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える	語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換える	2エ					○	◇	79.8	8.9	9.2
3-1	主人公が「素直りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する	登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する			1ウ			○	◆	91.9	0.3	0.2
3-2	「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア			○	△	79.8	0.3	0.2
3-3	生徒の落書きを見たときの主人公の心情を説明したものと適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ			○	◇	79.1	0.5	0.4
4-1	ウェブページの項目として適切なものを選択する	集めた材料を分類するなどして整理する	1イ					○	◇	92.6	0.3	0.4
4-2	主語を置き換えて行事の記録を書き直す	叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換える	1エ					○	◇	80.5	2.6	3.1
5-1	「動物」と「外界のもの」との組合せとして適切なものを選択する	抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解する			2ア			○	◇	78.2	0.4	0.4
5-2	「次々に簡略化していった」理由を説明したものと適切なものを選択する	文章全体と部分との関係を考え、内容を理解する			2イ			○	◇	85.6	0.5	0.5
6-1	二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する	目的に沿って話し合い、互いの発言を検討する	2オ					○	△	54.3	5.1	5.9
6-2	話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす	1オ					○	◇	76.0	1.1	1.2
7-1	文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する	多様な方法で材料を集めながら考えをまとめる	2ア					○	◇	84.6	0.5	0.6
7-2	文章の構成を変える理由として適切なものを選択する	書いた文章について意見を交流し、文章を書き直す	2オ					○	◇	72.1	0.8	1.0
8-1	漢字を書く(地域の人をシヨウタイする)	文脈に即して漢字を正しく書く			2(1)ウ(イ)			○	◆	57.6	13.8	12.3
8-2	漢字を書く(円のハンケイを求める)				2(1)ウ(イ)2(1)ウ(イ)			○	◆	59.5	3.5	3.3
8-3	漢字を書く(計画を行動にウツす)				2(1)ウ(イ)			○	◇	73.6	11.5	10.9

8二1	漢字を読む（アユの稚魚を放流する）					2 (1) ウ ア		○	◆	77.0	6.6	7.7
8二2	漢字を読む（このホールは童謡効果が良い）	文脈に即して漢字を正しく読む				2 (1) ウ ア		○	△	88.6	2.4	4.1
8二3	漢字を読む（新記録に挑む）					2 (1) ウ ア		○	◇	95.2	1.1	1.3
8三ア	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは、急がば回れといわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ）					1 (1) イ ウ		○	◇	59.2	0.8	1.0
8三イ	適切な語句を選択する（先のことは分からないが、とりあえず準備だけはしておこう）					1 (1) イ ウ		○	◇	96.2	0.5	0.6
8三ウ	適切な語句を選択する（地域の伝統的な文化を継承する）					2 (1) イ イ		○	◇	80.8	0.7	0.8
8三エ	適切な語句を選択する（笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを、「笑う門には福来たる」という）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1 (1) イ ウ		○	◇	89.5	0.6	0.7
8三オ	適切な敬語を選択する（お客様、私が校内をご案内します）					2 (1) ア ア		○	◇	93.0	0.7	0.8
8三カ	適切な語句を選択する（あの人は、単刀直入にものを言う）					1 (1) イ ウ		○	◇	86.3	1.0	1.1
8三キ	適切な語句を選択する（忙しい兄は、休日にのびのびと羽を伸ばす）					1 (1) イ ウ		○	◇	92.1	0.9	1.0
8四	国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く（英気を養う）	辞書を活用して、語句の意味を適切に書く				2 (1) イ イ		○	△	59.9	10.5	12.3
8五1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（まうけて）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				1 (1) ア ア		○	△	80.3	4.8	7.0
8五2	古文に当てはまる言葉を昔話の中から抜き出す	古典と昔話とを対応させて内容を捉える				2 (1) ア イ		○	◇	71.0	7.6	9.0
8六	文字を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを選択する	文字の大きさ、配列などに注意して書く				1 (2) ア		○	◇	77.6	1.3	1.6

(△)上回っている (◇)ほぼ同程度だがやや上回っている (一)全国平均と同じ (◆)ほぼ同程度だがやや下回っている (▼)下回っている

【設問分析】

1 報告会をする

1は、目的に応じて、資料を効果的に活用して話すことと、必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すことができるかどうかをみるものである。

【設問一】

- フリップの効果を説明したものとして適切なものを選択する設問では、全国の平均正答率と比較して、やや下回っている。

【設問二】

- 報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

報告や説明をするスピーチでは、フリップやプレゼンテーションソフトを活用した資料が有効である。また、実物投影機などの機器を活用することも同様に積極的に進めたい。

また、報告や説明を聞く際には、メモを取ることが重要である。国語の授業だけでなく、他教科や日常生活においてメモを取る習慣付けや、効果的なメモの取り方について指導する必要がある。

2 物語を書く

2は、心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加えることと、語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換えることができるかどうかをみるものである。

【設問一】

- 主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問二】

- 仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

物語などを創作する学習活動では、書いた文章を推敲する際に、伝えたい事柄を明確にした上で、それにふさわしい表現になっているかを検討するように指導することが大切である。その際読み手のイメージを喚起するために、比喩などの表現技法を用いたり、ことわざなどを引用したりするなどの工夫をするよう指導することも重要である。

3 文学的な文章を読む（『坊っちゃん』）

③は、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することと、文脈の中における語句の意味を理解すること、及び登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することができるかどうかをみるものである。

【設問一】

・主人公が「素通りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する設問では、全国平均正答率と比較して、やや下回っている。

【設問二】

・「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する設問では、全国正答率を上回っている。

【設問三】

・生徒の落書きを見たときの主人公の心情を説明したものとして適切なものを選択する設問では、全国平均正答率と比較して、やや上回っている。

設問一の正答率は全国平均正答率と比較して、やや下回っているが、正答率そのものは高い。文学的文章を読む学習では、登場人物の言葉だけではなく、行動や表情等からも心情を読み取る活動が重要である。そのためには、話の展開を正しく理解するとともに、特に山場などでの登場人物の心情の変化を丁寧に読み取る必要がある。心情曲線の活用や言動の変化を表にまとめる学習活動が有効である。

4 ウェブページを作成する

④は集めた材料を分類するなどして整理することと、叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換えることができるかどうかをみるものである。

【設問一】

・ウェブページの項目として適切なものを選択する設問では、全国平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問二】

・主語を置き換えて行事の記録を書き直す設問では、全国平均正答率と比較して、やや上回っている。

書いた文章を推敲する学習活動では、自分が伝えたい事柄が明確になるように、主語と述語の関係や、修飾語・被修飾語の関係など文の構成や接続の仕方に注目させることが大切である。例えば、同じ事柄でも主語を変えると内容の伝わり方が変わることに気付かせるような学習活動が有効である。

5 説明的な文章を読む

⑤は抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解することと、文章全体と部分との関係を考え、内容を理解することができるかどうかをみるものである。

【設問一】

・「動物」と「外界のもの」との組合せとして適切なものを選択する問題では、全国平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問二】

・「次々に簡略化していった」理由を説明したものとして適切なものを選択する問題では、全国平均正答率と比較して、やや上回っている。

説明的な文章を読む際には、抽象的な概念を表す語句を、文脈に即して具体的な内容と対応させながら読み進めることが重要である。そのためには、抽象的な概念を表す語句と対応している具体的な内容を取り上げて、その関係性を図表に整理するなどの学習活動が有効である。

6 話し合いをする

⑥は目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することと、話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことができるかどうかみるものである。

【設問一】

・二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する問題では、全国の正答率を上回っている。

【設問二】

・話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

複数の案から一つに絞り込む話し合いを行う際には、議論を焦点化するために図表を用いるなどして、共通点や相違点を整理する学習活動が有効である。その際、どのような観点で整理するかを明確にし、どのような図表を活用するのが有効であるかを考え、ワークシートなどでまとめさせることが大切である。

7 絵の鑑賞文を書く

⑦は多様な方法で材料を集めながら考えをまとめることと、書いた文章について意見を交流し、文章を書き直すことができるかどうかみるものである。

【設問一】

・文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問二】

・文章の構成を変える理由として適切なものを選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

鑑賞文を書く際には、作者の思いや、作品から受けた印象に関して、自分の思いを根拠付けるために材料を集め、目的や意図に応じて分類、整理するように指導することが大切である。

また、書いた文章について交流する際には、単元の目的に応じて「構成」や「相手意識」など、交流の観点を明確にすることが重要である。

8 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

⑧は文脈に即して漢字を正しく書くことと読むこと、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと、辞書を活用して、語句の意味を適切に書くこと、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと、古典と昔話とを対応させて内容を捉えること、文字の大きさ、配列などに注意して書くことができるかどうかみるものである。

【設問一】

- ・1 「招待」を書く問題では、全国の平均正答率と比較して、やや下回っている。
- ・2 「半径」を書く問題では、全国の平均正答率と比較して、やや下回っている。
- ・3 「移（す）」を書く問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問二】

- ・1 「稚魚」(ちぎょ)を読む問題では、全国の平均正答率と比較して、やや下回っている。
- ・2 「音響」(おんきょう)を読む問題では、全国の正答率を上回っている。
- ・3 「挑(む)」(いど(む))を読む問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問三】

- ・ア「急がば回れ」を選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。
- ・イ「とりあえず」を選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

- ・ウ「継承」を選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。
- ・エ「門」を選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。
- ・オ「ご案内します」を選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。
- ・カ「単刀直入」を選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。
- ・キ「伸ばす」を選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問四】

- ・国語辞典で調べたことを基に語句（英気を養う）の意味を書く問題では、全国の正答率を上回っている。

【設問五】

- ・1 歴史的仮名遣い（まうけて）を現代仮名遣い（もうけて）に直す問題では、全国の正答率を上回っている。
- ・2 古文に当てはまる言葉を昔話の中から抜き出す問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問六】

- ・文字を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを選択する問題では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

設問一の1と3は無解答率が高い。漢字の書きについては、字形が似ている漢字の意味を理解させるとともに、部首との関連について確認させることが大切である。また、漢字の意味については、文脈の中で意味を理解しながら読むことができるようにすることが大切である。

語句・語彙の指導については、語句の辞書的な意味を指導することに加え、実際に会話の中でことわざや故事成語を用いたり、具体的な場面を想定した敬語の指導をしたりすることが大切である。

設問四も無解答率が高い。辞書を活用する際には、文脈の意味に沿って語句の意味を調べられるように指導することが重要である。

文語のきまりについては、朗読などの音声を聞きながら理解を深めることが大切である。

書写の指導に当たっては、書いたものについて交流し、互いに助言し合うなどの学習場面を設定することが有効である。その際、文字の調和や筆遣いなどの交流の観点について示すことが大切である。

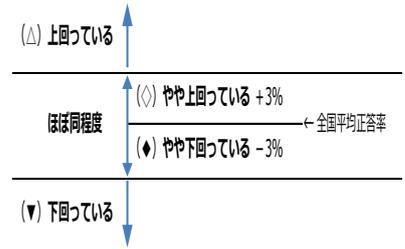
設問別調査結果 [中学校 国語B：主として活用]

分類・集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)	
			札幌市	全国(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0		
	書くこと	3	◇	41.0
	読むこと	8	◇	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	◇	56.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	◇	41.0
	話す・聞く能力	0		
	書く能力	3	◇	41.0
	読む能力	8	◇	49.2
	言語についての知識・理解・技能	4	◇	56.8
問題形式	選択式	6	◇	55.9
	短答式	0		
	記述式	3	◇	41.0

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

記号の意味



※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して、±3ポイントの範囲内

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式	札幌市	全国(公立)	札幌市	全国(公立)
1-1	標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する	表現の技法について理解する				1 (1) イ(オ)	○		△	65.3	0.3	0.3	
1-2	標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する	文章に表れているものの方角について、自分の考えをもつ			2 エ		○		◇	58.9	0.4	0.4	
1-3	ノートを基に、標語から伝わってくる(メッセージ)と(表現の工夫とその効果)を書く	文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書く		2 オ	2 ウ	1 (1) イ(オ)		○	◇	48.2	4.2	3.4	
2-1	本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する	複数の資料を比較して読み、要旨を捉える			1 イ		○		◇	31.4	0.6	0.6	
2-2	本やインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する	複数の資料から必要な情報を読み取る			1 カ		○		◇	60.9	0.7	0.7	
2-3	水の中に浸すと、切手をきれいはがすことができる理由を書く	資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く	1 ウ		2 オ		○	◇	28.4	17.0	16.0		
3-1	演者が顔を向ける方向として適切なものを選択する	本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取る			1 カ		○		◇	52.0	0.8	0.7	
3-2	殿さまの言葉が表す殿さまの姿として適切なものを選択する	落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像する			2 イ		○		◇	67.2	0.8	0.8	
3-3	落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く	落語に表れているものの方角や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く	1 ウ		2 エ		○	◇	46.5	9.1	8.6		

(Δ) 上回っている (◇) ほぼ同程度だがやや上回っている (○) 全国平均と同じ (◊) ほぼ同程度だがやや下回っている (▽) 下回っている

【設問分析】

1 読書についての標語を考える

1は、表現の技法について理解すること、文章に表れているものの方角について、自分の考えを持つこと、及び文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみるものである。

【設問一】

標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する設問では、全国の正答率を上回っている。

【設問二】

標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問三】

ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

表現技法については、名称を確認するとともに、実際の短歌などを取り上げて、その効果について考える学習活動が有効である。

書いた文章について交流する学習活動では、単に感想を述べ合うのではなく、代案として自分の考えを示したり、根拠を示して具体的に考えを述べ合ったりすることが大切である。

2 説明的な文章を読む（接着剤）

2は複数の資料を比較して読み、要旨を捉えること、複数の資料から必要な情報を読み取ること及び、資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことができるかどうかをみるものである。

【設問一】

本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っているが、正答率は低い。

【設問二】

本とインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問三】

水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っているが、正答率が低く、無解答率が高い。

設問一は全国の正答率をやや上回っているが、正答率そのものは低い。また、設問三は、全国の正答率をやや上回っているが、正答率そのものが低く、無解答率が高い。本や文章から得た知識を他の人に向けて説明する際には、情報を正確に理解して整理しているか、伝えたい内容を正確かつ分かりやすく述べているかを意識させることが大切である。その際、複数の情報を目的に応じて取捨選択したり、関係付けたりする必要があり、推敲の場面で意識してそれらの作業を行わせることが重要となる。

3 落語を味わう（「目黒のさんま」）

3は本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取ること、落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像すること、及び落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみるものである。

【設問一】本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取ること

演者が顔を向ける方向として適切なものを選択する設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問二】落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像すること

殿さまの言葉が表す殿さまの姿として適切なものを選択する設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

【設問三】落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く設問では、全国の平均正答率と比較して、やや上回っている。

登場人物の心情や作者の思いなどを想像するためには、自分の感想や考えの根拠を文章の一節や作品の展開に照らして明らかにすることが重要である。例えば、文学的文章を朗読する学習活動を設定する場合、登場人物の心情を作中のどの部分を根拠にして捉えて朗読に取り入れたかを明らかにさせる指導が大切である。

中学校 国語

児童生徒質問紙【教科に関する設問】	年度	【1】	【2】	【3】	【4】
国語の勉強は好きですか	H25	22.8	36.8	27.6	12.6
	H26	22.6	35.9	27.9	13.5
国語の勉強は大切だと思いますか	H25	50.1	36.3	9.4	3.8
	H26	50.1	37.2	9.2	3.4
国語の授業の内容はよく分かりますか	H25	23.7	48.5	21.7	5.9
	H26	22.6	48.8	22.6	5.8
読書は好きですか	H25	53.4	22.9	13.8	9.6
	H26	52.9	22.0	14.7	10.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	H25	38.7	40.6	14.9	5.5
	H26	39.9	41.4	13.7	4.8
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	H25	10.9	32.9	41.1	14.7
	H26	11.3	35.5	39.8	13.2
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	H25	10.3	33.1	40.9	15.4
	H26	10.6	35.8	40.5	12.9
国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	H25	18.6	40.9	30.3	9.9
	H26	19.0	41.1	30.5	9.2
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	H25	21.1	42.2	28.0	8.3
	H26	24.1	43.5	24.7	7.5

【1】当てはまる

(単位は%)

【2】どちらかと言えば、当てはまる

【3】どちらかと言えば、当てはまらない

【4】当てはまらない

〈設問分析〉

- 「国語の勉強は好きですか」という質問では、肯定的に回答した割合が 58.5% (25 年度 59.6%) となっており、全国平均を 0.4 ポイント上回っている。単元を貫く言語活動などを通じて、国語に関する生徒の興味・関心を引き出し、意欲につなげる指導の工夫がさらに求められる。
- 「国語の勉強は大切だと思いますか」という質問では、肯定的に回答した割合が 87.3% (25 年度 86.4%) となっており、全国平均を 1.6 ポイント下回っている。授業で身に付けた知識や技能を活用する場を設定し、国語の学習成果を生徒が実感できるような指導の工夫が求められる。
- 「国語の授業の内容はよく分かりますか」という質問では、肯定的に回答した割合が 71.4% (25 年度 72.2%) となっており、全国平均を 0.8% 下回っている。生徒一人一人の状況を把握し、個に応じた指導に努めるとともに、生徒自身が自らの状況を把握できるような評価を行うことが求められる。
- 「読書は好きですか」という質問では、肯定的に回答した割合が 74.9% (25 年度 76.3%) となっており、全国平均を 5.4% 上回っている。朝の一斉読書や学校図書館の活用などの取組を継続するとともに、授業における読書活動の充実について、さらに工夫することが求められる。
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という質問では、肯定的に回答した割合が 81.3% (25 年度 79.3%) となっており、全国平均を 1.0 ポイント下回っている。昨年度より向上がみられるが、引き続き、習得と活用のバランスを図りながら、社会生活で生きる国語の力を育む指導の充実が求められる。
- 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」という質問では、肯定的に回答した割合が 46.8% (25 年度 43.8%) となっており、全国平均を 9.0 ポイント下回っている。資料を活用する能力を身に付けさせるための指導を工夫するとともに、小集団による交流を取り入れるなどして、自分の考えを表現する力を高める指導の充実が求められる。
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」

という質問では、肯定的に回答した割合が46.4% (25年度43.4%)となっており、全国平均を2.8ポイント下回っている。授業でスピーチやプレゼンテーションなどの授業を行う際は、フリップなどの補助資料を活用することや、相手意識をもたせるなど、さらなる工夫が求められる。

○「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか」という質問では、肯定的に回答した割合が60.1% (25年度59.5%)となっており、全国平均を0.3ポイント下回っている。意見文や批評文などを書く際は、自分の考えの根拠を明確にすることが必要である。そのためには、推敲の際に小集団で意見交流するなどし、根拠が適切であるかを確認する学習活動が有効である。

○「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか」という質問では、肯定的に回答した割合が67.6% (25年度63.3%)となっており、全国平均と同じである。説明的文章では、指示語や接続語に注意しながら、段落ごとのつながりを意識して読むことが大切である。その際、文章構成図などを活用することは効果的である。文学的文章では、全体構成を理解するとともに、登場人物の心情の移り変わりを、その言動から読み取ることが大切である。特に、抽象的な表現や、文章には記されていない行間から心情を読み取るために、自分の経験と照らし合わせたり、生徒同士の交流場面を設けたりするなどの学習活動の工夫が求められる。